

# Tips: WebCT はじめての管理者ガイド

Copyright © EMIT Japan Corporation

## 概要

WebCT のインストールを終えた直後の状態では、コースやユーザなどの情報が何一つ登録されていないため、すぐに使い初めることが出来ません。本Tips では管理者がWebCT をインストール後、WebCT を使い初められるようにするまでの簡単なチュートリアルを行ないます。WebCT に簡単なプレートコースを作成し、デザイナーと学生を割り当てることを目標とします。

この Tips は以下の内容を含みます

- 管理インターフェース
- 管理パスワードの変更
- ライセンスの入力
- コースの作成とデザイナーの割り当て
- 作成されたコースにアクセスする
- 学生を追加する
- CSV ファイルで一括登録する

なお、この Tips は日本語化された WebCT を前提にしています。予めインストールマニュアルに従って日本語化しておいて下さい。

## 管理インターフェース

まず、**管理インターフェース**へアクセスと呼ばれる場所にアクセスする必要があります。**管理インターフェース**とは、WebCTの根本的な設定を管理できるWebインターフェースで、管理者はこのインターフェースを用いて種々の設定を施します。

管理インターフェースにアクセスするには、以下の URL にブラウザで接続します。

```
http://your_server:port/webct/admin/admin.pl
```

**your\_server**、および**port**はインストール時に指定したものにになります。例えばサーバが 192.168.0.1、ポートが 8900 であるなら以下のようなURLになります。

```
http://192.168.0.1:8900/webct/admin/admin.pl
```

管理インターフェースへのリンクは一切存在しないため、管理者はこのURLを覚えておかななくてはなりません。「トップ画面のURLに加えて/**webct/admin/admin.pl**が付け加わる」と覚えておくと良いでしょう。

**注意: エラー: ファイルが見つかりません** というエラーメッセージが出たら、管理インターフェースへの URL が間違っています。よく確認した後、再入力して下さい。

正常な URL にアクセスすると以下のような認証プロンプトが出現します(図 1)。

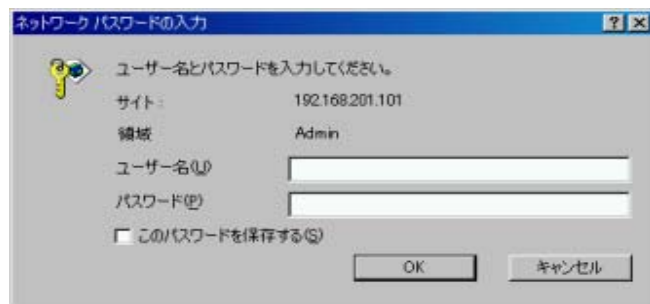


図 1 認証プロンプト

初期のユーザ名とパスワードは以下になります。

- ユーザ名: admin
- パスワード: webct

なお、パスワードが初期パスワードから変更されていないと、この変更を促すダイアログが現れます。以降の手順でパスワードを変更します。

## 管理パスワードの変更

管理インターフェースにログインできれば、ユーザやコースの操作やWebCT サーバの設定など、ほとんどのWebCTの根本的な設定が出来てしまいます。よって悪意のあるユーザにログインされた場合、ユーザ情報やコース情報を操作または破壊されてしまうことも考えられます。このような点から、管理インターフェースのパスワードがデフォルトの「webct」のままだとアラートが出現するようになっています。ここではパスワードをデフォルトの「webct」から変更します。

以下の手順でパスワードを変更します。

1. ログインした管理インターフェース下段フレームの **パスワード** ボタンを押します。
2. **現在のパスワードを入力:** に現在のパスワード、即ち **webct** を入力します。
3. **新しいパスワードを入力:** に新しいパスワードを入力します。
4. **新しいパスワードの確認:** に確認のため新しいパスワードを再入力します。
5. **続ける** を押します

その後

**成功:** パスワードが更新されました。

と表示されればパスワードは正常に変更されています。パスワード変更後、再度認証プロンプトが出現するので、今度は新しく設定したパスワードを再入力して下さい。

なお、ユーザ名を **admin** から変更することはできません。

## ユーザを追加する

それでは、続いてWebCTにユーザを追加してみましょう。

WebCT はユーザ作成時に学生やデザイナーなどの役割を区別しません。管理者はまずユーザとしてWebCTを利用する人物情報を作成し、その後で作成されたユーザに対して適切な役割(学生、デザイナー等)を与えることで管理しています。ここ

ではコースのデザイナーと割り当てる予定の **emit\_taro** というユーザを新規に作成してみます。

1. 下部フレームの **ユーザ管理** のボタンを押します。
2. 画面が切り替わるので、下部フレームの **追加** ボタンを押します。すると今度は上部に **ユーザの追加** インターフェースが現れます。

ここで例として以下のユーザ情報を追加することにします。

- WebCT ID : emit\_taro
- パスワード : abcdef
- 名 : 太郎
- 姓 : エミット

**注意** WebCT ID は半角英数字およびアンダースコアのみというきまりがあります。また、ここで入力する必須項目は、WebCT ID とパスワードのみです。

**追加** ボタンを押すとユーザが追加されます。

この例でわかるように、ここで作成したユーザはWebCT ID とパスワード(および姓名)の情報しか持っていません。次の手順でコースを新規に作成し、ここで作成した **emit\_taro** に対して **デザイナー** という役割を与えてみます。

## コースの作成とデザイナーの割り当て

それでは新規コースの作成と、作成されたコースに対し **emit\_taro** をデザイナーとして割り当てる手順を示します。

**Note:** デザイナーとはコースを作成できる権限を持った役割をもったユーザのことをさします。管理者によって作成されたコースに対して、実際に教材やテストを作ることが出来る権限もっています、また同じコースに所属する学生を管理することも出来ます。

現在、管理インターフェースの下段フレームはユーザ管理のままになっていると思います。その場合は左側の **Admin** ボタンを押すことで管理インターフェースのトップ画面に戻るこ

とが出来ます。

管理インターフェースのトップ画面に戻ったら以下の手順でコースを作成します。

1. **コース管理**を押します。すると画面がコース管理に切り替わり、下フレームのボタンもコース管理用のものが表示されます。
2. **新規コース**ボタンを押して、コースの新規登録画面に移動します

ここで以下のように入力します。

- コース ID: first\_course
- コースタイトル: 初めてのコース
- コース概要: 初めての作るコース
- 学期: デフォルト学期
- カテゴリ: メイン
- 言語: 日本語・ユニコード(UTF-8)
- テンプレート: 簡易

3. デザイナオプションで

#### このコースのデザイナーのWebCT IDを指定

を指定し、**WebCT ID:** のテキストボックスに先程作成したemit\_taroを入力して、**続ける** ボタンを押します。

すると以下のような画面が表示されます。

WebCT ID	姓	名
emit_taro	エミット	太郎

図 4: デザイナの確認画面

ここで**続ける**ボタンを押すことでコースの追加が完了すると同時に、先程追加したemit\_taroがデザイナーとしてコースに割り当てられることになります。

**成功:** first\_course という名前のコースが 簡易 をテンプレートとして作成されました。

## 作成されたコースにアクセスする

それでは、実際にコースへアクセスしてみてコースがどのように作成されたのか確認してみましょう。コースへアクセスするには以下の手順になります。

1. ブラウザのアドレスバーに、サーバのトップ画面までのURLを入力します<sup>1</sup>。例えば

http://192.168.0.1:8900/webct/webct/admin.pl

が管理インターフェースのURLであれば、トップ画面のURLは

http://192.168.0.1:8900

になります。

2. **myWebCT ヘログイン** のリンクを押します。
3. WebCT ID とパスワードの入力画面になるので、デザイナーの ID とパスワードを入力します。ここで作成した例では、WebCT ID に emit\_taro、パスワードには abcdef を入力すれば良いことになります。
4. **myWebCT** と呼ばれる画面が表示されます(図5)。ここにはユーザが所属しているコースの一覧が表示されます。先程「初めてのコース」のデザイナーとして登録したので、emit\_taro の myWebCT には「初めてのコース」が表示されていると思います。また、コースに対して、**役割: デザイナ**と表示されていることも確認して下さい。

<sup>1</sup> コース管理のコースへのボタンから行くことも出来ますが、こちらはmyWebCTを経由しません。



図 5 : myWebCT

5. **初めてのコース**をクリックしてアクセスします。

既にいくつかのコンテンツが登録されていると思います。これはコース作成時に**簡易テンプレート**を選択した為です。ここで追加されているテンプレートを参考にして、自分のオリジナルコースを作ることが出来るようになっていきます。

なおコース作成時のテンプレートの選択で**ブランク**を選択すると、何も無い空のコースを作ることが出来ます。

## 学生を追加する

先の手順までで、「**初めてのコース**」にデザイナーを追加する作業は完了しました。続いて学生1、学生2、学生3 というユーザを追加し、「初めてのコース」に学生として割り当ててみます。

**Note:** 学生とはコースを利用する側の役割を持ったユーザのことを差します。デザイナーが作成した教材やテストを実際に利用して学習していくユーザです。

学生を割り当てるには以下手順で行います。

1. 管理インターフェースへログインします
2. **ユーザ管理**ボタンを押します
3. 下フレームのボタンがユーザ管理用になるので、ここで**追加**ボタンを押します
4. 以下の3人の情報について繰り返し登録します

WebCT ID : std001  
パスワード : std001  
名 : 学生 1

姓 : 学生 1

WebCT ID : std002

パスワード : std002

名 : 学生 2

姓 : 学生 2

WebCT ID : std003

パスワード : std003

名 : 学生 3

姓 : 学生 3

これで3人のユーザ情報の追加が終わりました。しかし、この状態ではまだ「初めてのコース」の学生として登録されていない状態です。以降の手順で「初めてのコース」の学生として登録する作業を行います。

1. 管理インターフェース内の、**学生管理**の画面で下部フレーム内の**クエリ**ボタンを押します。
2. 下部フレームに条件を入力するフォームが表示されるので以下の条件を入力して検索します。

基準: WebCT ID+

値: (空のままにします)

比較条件: 空でない

**Note:** 比較条件に WebCT ID+が「空でない」を指定した場合は登録されている全てのユーザ情報を得ることが出来ます。

3. 現在までに4人のユーザを追加しているはずなので、出力結果は以下のようになります。

WebCT ID+	名+	姓+	コース+
emit_taro	太郎	エミット	first_course(d)
std001	学生 1	学生 1	---
std002	学生 2	学生 2	---
std003	学生 3	学生 3	---

4. WebCT IDの左側に付いているチェックボックスを **std001 からstd003 まで**チェックし、その状態のまま下

## CSV ファイルで一括登録する

先程 3 名の学生を一人一人コース管理より追加しましたが、この作業をWebインターフェースより手作業で追加していくのはとても骨の折れる作業になります。そこでWebCTはCSV<sup>2</sup>ファイルによる一括登録をサポートしています。これは予め学生情報をコンマ区切りのテキストファイルに書いておき、そのファイルをアップロードすることによってWebCTが自動的にユーザ情報を一括登録するという機能です。この機能を使って学生 4 から学生 10 までを一括登録してみましょう。

まず windows のメモ帳を開き、以下のようなファイルを用意します。

```
WebCT ID,Password,Last Name,First Name,Courses
std004,std004,学生 4,学生 4,first_course
std005,std005,学生 5,学生 5,first_course
std006,std006,学生 6,学生 6,first_course
std007,std007,学生 7,学生 7,first_course
std008,std008,学生 8,学生 8,first_course
std009,std009,学生 9,学生 9,first_course
std010,std010,学生 10,学生 10,first_course
```

ここで注意しなくてはならない点があります。csvファイルに日本語を含む場合、utf-8という文字コードで保存しなくてはなりません。windowsのメモ帳ではutf-8で保存する機能があるのでこれを使用してみます。

ファイル→名前を付けて保存 で文字コードの指定をUTF-8にします。(下図参照)。その後std.txtなど任意の名前を付けて保存します。

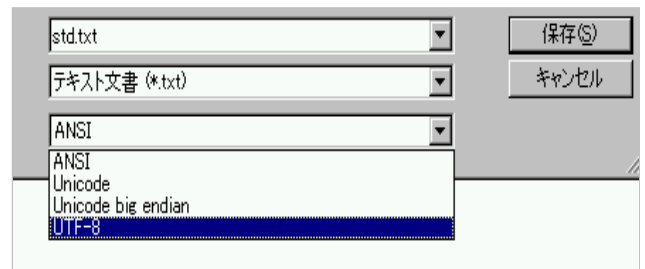


図 7 : UTF-8 で保存

部フレーム内の**複数学生の追加** ボタンを選択します

- 以下のメッセージが出力され、作成したコース (first\_course) がセレクトボックス内に表示されていると思います。

次のコースがこのサーバ上で利用可能です。コースを選択 (複数選択可) し、**追加** をクリックしてください。

- セレクトボックスより**first\_course**を選択し、**追加**を押します
- 以下のメッセージが表示されて、学生が追加されます。

次の学生がコースに追加されました。**続ける** をクリックして終了します。

- 続ける** ボタンを押して続行します。すると先程まで — だったコースのカラムに、first\_course が割り当てられていることがわかります。

WebCT ID+	名+	姓+	コース+
emit_taro	太郎	エミット	first_course (d)
std001	学生 1	学生 1	<b>first_course</b>
std002	学生 2	学生 2	<b>first_course</b>
std003	学生 3	学生 3	<b>first_course</b>

**Note:** (d)という記号はそのコースにおけるデザイナーであることを示します。コース情報のみのユーザはそのコースの学生として登録されています。

確認のため、管理インターフェースを抜けて、再びトップページに移動し、それぞれの学生でログインしてみてください。myWebCT のコース画面の**役割**：の部分を見ると、正しく学生として登録されていることが確認できます。

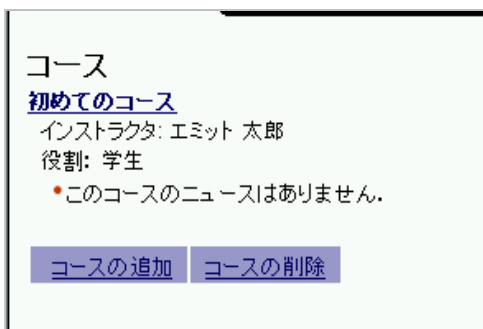


図 6 : 役割が学生になっている

<sup>2</sup> フィールドがコンマで区切られたテキストファイル

**注意:** アドミニストレータの文字セットを日本語(Shift\_JIS)にすれば Shift\_JIS のままアップロードすることも可能ですが、使用している文字によっては正常にアップロードされないことがあります。できる限り UTF-8 での使用をおすすめします。

この段階で管理インターフェースにアクセスし、**ユーザ管理** → **アップロード** の順番にボタンを押します。すると **ファイルアップロード** の画面になるので、で先程作成したファイルを指定して **続ける** を押します

すると

次のフィールドがファイル中に見つかりました :

という出力とともに、カラムの表が現われます。

ファイル中のフィールド	データベース中のカラム
WebCt ID	WebCT ID
Password	パスワード
Last Name	姓
First Name	名
Courses	コース

ここで **続ける** ボタンを押すと、追加されるユーザの WebCT ID、パスワード、姓、名、コース(およびその役割)がプレビューとして表示されます。一通り確認した後、登録情報が正しいようであれば **続ける** を押します。

**注意:** この時点で文字化けが発生している場合は文字コードが間違っています。キャンセルを押して中止し、メモ帳などで正しく UTF-8 にて保存し直して下さい。

以下のような出力が出れば追加は正常に完了しています。

#### 新規レコードの追加

**成功:** レコードが追加されました。

#### ユーザに関するコースの追加

**成功:** ユーザのレコードにコースが追加されました。

念のため、ユーザリストを出力して正常にデータベース内に反映されたかどうか確認します。

データベース内に反映されたかどうか確認するには、ユーザの全リストを出力するクエリの操作を再び行います。

1. 管理インターフェースにアクセスします。
2. **ユーザ管理** ボタンを押します。
3. **クエリ** ボタンを押します。
4. WebCT ID が空でない条件で検索します。

正常に追加が完了していれば、先に追加した学生 4 から 10 までを含めた全てのユーザ正しくリスト表示されるはずです。追加したユーザの中でどれか適当なものをピックアップして、ログインしてみてください。

**参考:** CSVファイルはExcelのような表計算ソフトで作成することも出来ませんが、ExcelはUTF-8を扱えないため、一度作成したcsvをメモ帳などで再度UTF-8に変換するといった方法を用いれば正しくインポート出来ます。また、OpenOffice.org (<http://ja.openoffice.org/>) というソフトの表計算機能を利用すれば、UTF-8を含むCSVファイルを扱うことも可能です。

この Tips は以下の環境で確認しました。

- サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3
- クライアント OS : Windows2000
- クライアントブラウザ : IE6.0 SP1

(2003年12月17日 福山 貴幸 作成)